

連絡先：

警備救難部警備課課長補佐 渡邊 晃久

電話： 3591-9795（直通）

3591-6361（内線 5601）

平成18年8月25日

海上保安庁

### 「東南アジアにおける海上セキュリティ対策セミナー」の結果について

海上保安庁では、海洋政策研究財団の支援を得て、8月22日（火）から24日（木）の間、三田共用会議所等において東南アジアの5ヶ国から海上保安機関職員15名を招へいし、「東南アジアにおける海上セキュリティ対策セミナー」を開催しました。

その結果は以下のとおりです。

- 1 セミナー冒頭、海上保安庁警備救難部長の挨拶に続き、マレーシア、日本、シンガポールの有識者から東南アジアにおける海上セキュリティに関する基調講演があり、以後、警備救難部警備課長の司会により進行しました。
- 2 まず、海上におけるテロ対策として、情報収集、重要施設の警備、国境管理と港湾保安、SOLAS 条約の実施、テロ事件の捜査について、各機関で実施している具体的な対策の発表を行い、相互理解を深めるとともに地域全体でレベルアップを図る必要性について議論しました。特に、犯罪であるテロ行為を防止するうえで、法令の執行を担う海上保安機関の役割の重要性が指摘されました。
- 3 次にインテリジェンス及びオペレーションの分科会を開催し、テロ関連情報の交換を行うとともに、海上セキュリティを強化するための二国間・多国間協力を促進について議論しました。
- 4 更に6月28、29日に東京で開催された日ASEANテロ対策対話の概要を、日本政府により新たに導入された協力の枠組みを含めて説明を行いました。
- 5 24日には横浜海上防災基地及び海上保安資料館（北朝鮮工作船展示）を視察して日程を終了しました。参加者からは、かかるセミナーの有効性と継続を求める声が多数寄せられました。